

平成27年度事業報告書(H27.4.1～H28.3.31)

当財団は平成3年9月に設立され平成24年には公益財団法人へと移行し、四半世紀に亘って骨粗鬆症の啓発活動を続けてまいりました。その間、多くの関係者の方々にご尽力を賜り、多くの成果を上げつつ財団も発展を遂げてまいりました。当年度、公益財団法人移行後に初めて実施された内閣府による立入検査では、そうした功績について高い評価を頂きましたが、一方で財団のガバナンスをさらに強化するよう指摘を受けております。

平成27年度は骨粗鬆症の普及と啓発を強化するため、World Osteoporosis Dayを周知する活動に重点を置き、従来の市民公開講座を開催するだけでなく、プレス関係者を招いたセミナーを開催して情報発信を行いました。また、財団の独力だけでなく関係企業の力を結集し、World Osteoporosis Dayに関連するポスター及びリーフレット、ピンバッジを作成し、全国の自治体、病医院(医療従事者)、WODキャンペーン参加者等に配布する試みを行いました。更に、今後の普及と啓発事業を補完するために①実態調査ワーキンググループ、②普及と啓発ワーキンググループ、③骨粗鬆症患者の会ワーキンググループの3つを立ち上げ、平成28年度からの事業変革に備えています。

研究助成事業においては、研究者を取り巻く環境が大きく変化し応募者数が急増しています。3つの研究助成事業にはそれぞれの特徴がありますが、募集要領や選考方法に工夫を凝らし、質の高い助成事業を行っています。また、調査研究事業においては電子レセプトデータを利用した調査活動を開始し、啓発活動の基礎となる実態調査に着手しています。

【公益目的事業】

(1) 普及・啓発事業

イ) 骨粗鬆症に関する資料・資料の作成と配布

- ・既存の資料はホームページの請求フォーム、電話等から受付、原則無料配布(→後述 ヌ)
- ・世界骨粗鬆症デー ポスター・リーフレット 2種(→後述 ハ)
- ①「10/20は世界骨粗鬆症デー」 ポスター 18,000枚、リーフ 73,000枚
- ②「骨々とうろろ カルシウム+ビタミンD」 ポスター 11,500枚 リーフ 50,100枚
- ・医療従事者向け下敷き型資料「骨粗鬆症治療薬一覧 2015年版」 81,374部
- ・「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版」(日本骨粗鬆症学会、日本骨代謝学会と共同制作)
- ・新資料について普及と啓発ワーキンググループ(WG)にて検討(平成27年6月22日)

ロ) ホームページの運営と更新作業

- ・一般向け、医療従事者向けコンテンツを充実させ、アクセス数が増加
アクセス数(ページビュー: Webページが閲覧された回数)の推移
2014年: 38,000/月
2015年: 67,000/月
- ・「病医院リスト」登録数 2,005件(平成28年4月30日現在)
- ・Facebook・Twitterを開始
- ・トップページへのバナー広告掲載で運営費の確保(10社→11社へ)
- ・現行の『Q&A』ページと疾患説明の機能を併せ持つような新しいコンテンツの検討を普及と啓発WGにて検討(平成27年6月22日)

ハ) 世界骨粗鬆症デー・キャンペーン(WOD)の取組み

- ・プレスセミナー「世界骨粗鬆症デーにむけて」
日 時: 平成27年10月9日(金) 16:00～17:30
場 所: 東京ミッドタウンカンファレンスセンター(東京都港区)
講 師: WOD紹介 折茂 肇 先生/太田博明 先生
講演①伊木雅之 先生/講演②吉住奈緒子 先生/講演③林 泰史 先生

- ・第4回市民公開講座「ご存知ですか？骨の健康 ～これからの骨粗しょう症対策で若さに差をつける～」

日 時：平成27年10月25日(日) 13:00～15:30

場 所：品川インターシティホール(東京都港区)

講 師：講演① 鈴木敦詞 先生／講演② 松井 浩 先生／講演③ 小山浩子 先生
／全国の骨を守る会紹介 塚原典子 先生

骨量測定、出展コーナー(乳製品、FRAX値測定)

参加者：281名(骨量測定:210名)

- ・「世界骨粗鬆症デー」及び「IOF 2015WODテーマ:栄養」に関するポスターとリーフレットを作成し全国の自治体や病医院に配布
- ・ピンバッジ「Love Your Bones」を作成。医療関係者やWODキャンペーン参加者・団体はピンバッジをつけることでWOD周知を促す

ニ)骨量測定拡大キャンペーン

全国の骨粗鬆症検診担当者の参考となるよう、検診が活用されている自治体等を成功例として紹介する動画をホームページにて紹介

あさひ総合病院(富山県)を取材、動画編集作業終了(H28年5月から掲載開始)

ホ)地域骨を守る会の支援・連携

・第5回「全国骨を守る会連合会」を開催(平成28年1月24日・AP東京八重洲通り T+Uルーム)

〈主な議事〉

*平成27年度 各地域の骨を守る会の活動報告

*会則の変更

*「広島骨を守る会」の参画を承認

・各骨を守る会に助成金を支給

・仙台骨を守る会立ち上げの支援

ヘ)骨粗鬆症財団ニュースの発行

(一面タイトル)

No. 27(6月)「IOF/ESCEO合同大会参加報告」

No. 28(1月)「プレスセミナー 骨粗鬆症デーにむけて 開催報告」

ト)教育ゼミナールの開催及び記録集の作成

第64回(平成27年6月19日(金) 18:00～20:00 AP東京八重洲通り Kルーム)

受講者:102名

座長:井上哲郎 先生

講演Ⅰ「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015年版 ～その読み方、使い方～」

医療法人財団健康院 健康院クリニック 副院長 細井 孝之 先生

講演Ⅱ「新しいガイドラインに基づく骨粗鬆症の薬物治療 ～診療現場からみた各薬剤の使い分け～」

虎の門病院内分泌代謝科 部長 竹内 靖博 先生

第65回(平成27年11月6日(金) 14:00～16:30 AP東京八重洲通り F+Gルーム)

受講者:48名

座長:中村利孝 先生

講演Ⅰ「骨粗鬆症患者における歯科治療の考え方について」

松本歯科大学歯学部歯科放射線学講座 教授 田口 明 先生

講演Ⅱ「骨粗鬆症患者の骨折抑制を目指して ～treat to targetとtarget to treat～」

近畿大学医学部奈良病院整形外科・リウマチ科 教授 宗圓 聡 先生

チ)精度よくDXAで骨量測定するための講習会 3回開催

共催:GEヘルスケア・ジャパン、東洋メディック、日立アロカメディカル
 後援:日本骨粗鬆症学会、日本骨代謝学会、日本骨形態計測学会
 講師:福永仁夫 先生、曾根照喜 先生、友光達志 先生

回	開催日	開催場所	受講者数
第18回	平成27年 5月31日(日)	さいたま市	64
第19回	平成27年11月29日(日)	大阪市	93
第20回	平成28年 2月14日(日)	那覇市	53
計			210名

リ)女子中高生と母親の啓発活動

「成長期にある子供とその母親の骨密度強化啓発と親子の相関性調査」14年目、
 聖マリアンナ医科大学 清水弘之 先生の協力のもと骨量測定会を実施

- ・聖ドミニコ学園 :平成27年10月25日(生徒 28名、母親 38名、親子ペア 20組)
- ・洗足学園 :平成28年 2月27日(生徒 41名、母親 50名、親子ペア 24組)

又)電話、E-mail、ホームページから寄せられる相談・質問等への対応

ホームページから質問・相談 171通
 ホームページから資料の請求 335通

資料名		送付部数
保健指導シート1	カルシウムを多く含む食品	18,614
保健指導シート2	ビタミンD/Kを多く含む食品	12,295
保健指導シート3	丈夫な骨をつくる骨粗鬆症予防・改善体操	8,559
保健指導シート4	毎日つづけようロコモ運動	8,159
保健指導シート5	転倒予防のために 安全な住まいづくり	2,469
3つ折りB5	骨の健康、考えてますか	7,089
3つ折りB5	骨粗鬆症の予防は成長期から	3,004

ル)骨粗しょう症友の会の検討

・骨粗鬆症患者の会WGの開催

- 第1回:平成27年6月14日(日) 13:00~14:30
AP東京八重洲通り Jルーム
- 第2回:平成27年8月30日(日) 11:00~12:30
AP東京八重洲通り D+Eルーム
- 第3回:平成27年12月6日(日) 11:00~12:45
フクラシア東京ステーション Fルーム

・友の会に参加する医療機関数や会員数を把握するためのアンケート調査を実施

対象:財団ホームページ病医院リスト掲載施設(1,793軒)
 方法:アンケート用紙を郵送しFAXにて回収
 回収期間:2/8~2/29
 回収数:452件(5/8現在)

ヲ)その他

- ・『Osteoporosis Japan PLUS』の編集協力(創刊号 2016年2月に発刊)
- ・「健幸美身」(雪印メグミルク 広報誌)4月号
 特集『世界の骨粗しょう症事情ー骨の健康のために』事務局長取材

(2) 研究助成事業

イ) 平成26年度助成分 成果報告を雑誌に掲載

- ・第22回財団研究助成報告書 5題 Osteoporosis Japan PLUS No.1, 2016
- ・第10回リリー研究助成プログラム報告書 10題 Osteoporosis Japan Vol.23 No.3, 2015
- ・第7回旭化成研究助成プログラム報告書 8題 Osteoporosis Japan PLUS No.1, 2016

ロ) 平成27年度分として次の3助成に対する交付を行った。

- ・第23回(平成27年度)財団研究助成
- ・第11回(平成27年度)リリー研究助成プログラム(骨領域研究)
- ・第8回(平成27年度)旭化成研究助成プログラム(骨粗鬆症QOL研究)

○第23回(平成27年度)財団研究助成の交付 (研究期間:平成27年4月～28年3月)

【指定課題】 助成金額:1件300万円 応募者数 6件

	課 題	所 属	氏 名
1	サルコペニア、骨粗鬆症、変形性関節症の相互関係と共通リスクの解明 -ROAD スタディ追跡調査より-	東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター 関節疾患総合研究講座	吉村 典子

【一般課題】 助成金額:1件80万円 応募者数 36件

	課 題	所 属	氏 名
1	易転倒性及び骨粗鬆症に起因する転倒・骨折に対するリスク評価法	東京大学大学院総合文化研究科 生命環境科学系 身体運動科学研究室	今井 一博
2	前庭系による筋と骨の組織間ネットワーク調節に着目した骨粗鬆症の病態機序の解明	近畿大学医学部 再生機能医学	河尾 直之
3	骨粗鬆症での活性酸素障害および小胞体ストレスの関与の検討: Sod1;Prdx4 二重欠損マウスを用いた基礎的研究	山形大学大学院 医学系研究科 生命環境医科学 専攻 生化学・分子生物学講座	本間 拓二郎
4	副甲状腺ホルモン(PTH)治療が骨粗鬆症由来の腰痛に及ぼす影響の検討	北里大学医学部 整形外科	宮城 正行
5	地域連携骨折パスを利用した大腿骨近位部骨折治療体制の検証-特に現状の振り返りから、急性期病院での効率的なメディカルスタッフの関わり方を検討する	磐田市立総合病院 整形外科	山崎 薫

◇第11回(平成27年度)リリー研究助成プログラム(研究期間:平成27年1月～27年12月)

助成金額:1件80万円 応募者数 44件

	課 題	所 属	氏 名
1	進行度(病理分類)I、II期胃癌患者の胃切除後の骨密度変化に関する前向きコホート研究	近畿大学医学部 胃がん外科	今野 元博
2	骨粗鬆症患者の脆弱性骨折後の骨癒合に対する週1回テリパラチド製剤投与の影響	大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科(整形外科)	柏井 将文

3	糖尿病合併慢性腎臓病患者へのマグネシウム投与が骨代謝マーカーに及ぼす効果の検討	大阪大学大学院医学系研究科 老年・腎臓内科学	坂口 悠介
4	胃切除術後の続発性骨粗鬆症の実態調査ならびに薬物治療の有用性に関する前向き施設共同研究	大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座消化器外科学	高橋 剛
5	骨粗鬆症患者におけるデノスマブの体内動態および臨床効果の個人差要因の解明	浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部	内藤 隆文
6	アディポネクチンは独立した骨粗鬆症進展因子か？骨・脂肪連関は存在するか？	自治医科大学分子病態治療研究センター 分子病態研究部	西村 智
7	骨量減少を合併した低 PTH 血症透析患者に対する連日テリパラチドの有効性と安全性についての検討	虎の門病院腎センター 内科	平松 里佳子
8	ビスフォスフォネート関連顎骨壊死に対する新たな臨床指針のための前向きコホート研究	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 顎口腔再建外科学分野	松原 正和
9	骨粗鬆症と冠動脈石灰化に関与する共通分子機構の解明と新たな治療法の確立に関する臨床的検討	熊本大学医学部附属病院 循環器内科	山本 英一郎
10	COPD(慢性閉塞性肺疾患)合併骨粗鬆症に対する治療介入および慢性低酸素血症に対する酸素療法導入の骨代謝動態への影響の臨床的検討	帝京大学ちば総合医療センター 第3内科 内分泌代謝研究室	渡部 玲子

△第8回(平成27年度)旭化成研究助成プログラムの交付(研究期間:平成27年4月～28年3月)
助成金額:1件50万円 応募者数 27件

	課 題	所 属	氏 名
1	骨粗鬆症性脊椎骨折におけるアライメント不良とQOLの関係	近畿大学医学部 整形外科	池田 光正
2	糖尿病関連骨粗鬆症の ADL、QOL に与える影響の検討	島根大学医学部 内科学講座 内科学第一	金沢 一平
3	脊髄障害による対麻痺患者に発生する骨粗鬆症性脆弱性骨折が QOL に与える影響	北海道大学大学院 医学研究科 整形外科	高畑 雅彦
4	骨粗鬆症患者における QOL 低下の疾患特異性に関する研究 -変形性関節症との比較検討-	京都女子大学 家政学部 食物栄養学科	田中 清
5	骨粗鬆症を伴った脊椎変性疾患に対する多椎間手術における PTH 製剤投与による術後 QOL 変化 -前向きランダム化比較試験-	山梨大学大学院 医学工学総合研究部	波呂 浩孝
6	中山間地域住民の運動器検診によるロコモティブシンドローム要因の解明と予防法の確立	浜松医科大学 整形外科	星野 裕信
7	デノスマブとテリパラチド併用投与の新規骨粗鬆症性椎体骨折患者に対する QOL、骨癒合への影響	大阪労災病院 整形外科	松本 富哉
8	骨粗鬆症性脊椎椎体骨折の長期予後の解明 -ROAD スタディ 10 年追跡調査より-	東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター 臨床運動器医学講座	村木 重之

ハ) 次年度(平成28年度)分の助成募集と選考を行った。

- ・第24回(平成28年度)財団研究助成
- ・第12回(平成28年度)リリー研究助成プログラム(骨領域研究)
- ・第9回(平成28年度)旭化成研究助成プログラム(骨粗鬆症QOL研究)

○第24回(平成28年度)財団研究助成(研究期間:平成28年4月～29年3月)

募集期間:平成27年11月20日～平成28年1月12日

一次審査:平成28年1月15日～2月1日

選考委員会の開催:

- ・平成28年2月7日(日) 15:00～16:00
- ・AP品川 Lルーム
- ・選考委員 井上大輔先生、竹田 秀先生、岩本 潤先生、寺内公一先生
- ・選考 :【指定課題】 助成金額:1件100万円 3題 応募者数 11件
↳ 中外製薬株式会社の支援による研究助成
- 【一般課題】 助成金額:1件 60万円 5題 応募者数 63件

◇第12回(平成28年度)リリー研究助成プログラム(研究期間:平成28年1月～28年12月)

募集期間:平成27年7月1日～平成27年8月31日

一次審査:平成27年9月29日～10月19日

選考委員会の開催:

- ・平成27年10月30日(金) 17:30～18:30
- ・ANAクラウンプラザホテル神戸「デイジー」
- ・選考委員 井上哲郎先生、松本俊夫先生、堂地 勉先生、藤原佐枝子先生
- ・選考 助成金額:1件80万円 10題 応募者数 54件

△第9回(平成28年度)旭化成研究助成プログラム(研究期間:平成28年4月～29年3月)

募集期間:平成27年9月1日～平成27年10月31日

一次審査:平成27年11月4日～11月25日

選考委員会の開催:

- ・平成27年12月8日(火) 18:30～20:00
- ・東海大学校友会館「諏訪」
- ・選考委員 林 泰史先生、太田博明先生、細井孝之先生
- ・選考 助成金額:1件50万円 8題 応募者数 36件

(3) 調査・研究事業

イ) 大腿骨近位部骨折発生率全国調査

Osteoporosis International誌に掲載(2016 27:1777-1784) (岩手医科大学・八重樫由美先生)

ロ) 骨粗鬆症治療薬の服用に関するアンケート調査

・「第3回世話人会」を開催

日時:平成27年10月3日(土) 17:00～18:40

場所:品川プリンスホテル メインタワー3F「りんどう・しゃくなげ」

決定事項:

BP剤で治療を受けている骨粗鬆症患者での縦断アンケートの今回の集計結果から推定できると想定される興味深いポイントについて、追加集計(解析)する内容を決定

・「第4回世話人会」を開催

日時:平成27年12月19日(土) 16:00~17:30

場所:AP東京八重洲通り Oルーム

決定事項:以下のテーマと担当で論文化

服薬に関する課題(萩野 浩先生)

新規骨折に関する課題(竹内靖博先生)

ロコモ等、身体機能(ADL)に関する課題(田中 栄先生)

男性骨粗鬆症(岡崎 亮先生)

ハ)骨粗鬆症実態調査

・実態調査WGにて調査案を検討・実施(平成27年4月27日、平成28年1月17日)

・北海道の電子レセプトデータを利用した骨粗鬆症診療実態調査

分析結果の一部をプレスセミナーにて報告済

・National Data Base調査の申出書を準備中

(4)情報収集&ロビー活動等

イ)IOF関連

・折茂理事長:Board Web会議に出席(平成27年11月19日)

・折茂理事長:Asia Pacific-South Africaの代表としてBoardに再任(任期4年)(活動は後述)

・2016年のキャンペーンテーマは「Love Your Bones: Protect Your Future」に変更

ロ)健康日本21推進全国連絡協議会との情報交換

・会議等出席

第2回分科会(平成28年1月27日)

「健康日本21(第二次)推進のための社会環境整備について」

第18回総会(平成28年2月24日)

ハ)厚生労働省「がん対策推進企業アクション推進パートナー企業」登録

(5)その他

イ)個人賛助会員の募集

平成26年度 1名 → 平成27年度 51名

ロ)税額控除に係る証明書 取得(内閣総理大臣 平成27年4月16日付)

個人の寄付者の税額控除が可能に

ハ)公益法人協会主催の寄付月間(12月)と「ファンドレイジング・日本2016」において寄付拡大に向けて財

団の活動紹介

二)賛助会員の会

日時:平成27年4月14日(火) 16:00~18:00

場所:AP東京八重洲通り Mルーム

出席者:18社

主な議事: 財団の普及啓発事業の概要/関係者が連携した啓発活動について

骨粗鬆症検診・診療の受診率向上を目指した取り組み

【収益事業等】

イ)著作権関連事業

「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015」を主として、財団資料・ホームページからの転載許諾対応